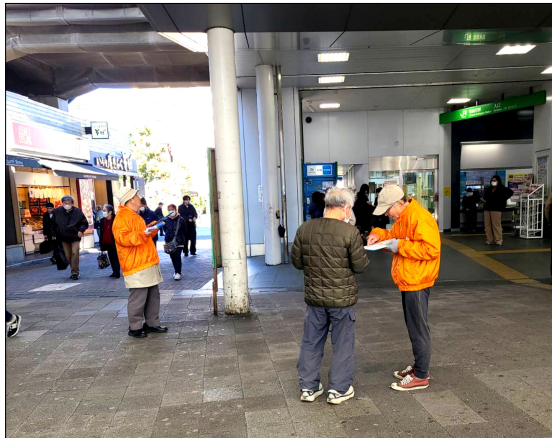


2025年
331号
 12月17日(水)

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
 〒343-0845
 埼玉県越谷市南越谷2-13-49
 (越労連内)
 TEL・FAX 048-989-2472
 E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



年金者組合は、2ヶ月に一回の年金支給日に全国で、そして埼玉県で年金受給日宣言をしています。越谷支部は南越谷駅頭(写真)にて10時30分から11時30分まで行っています。今日は12月15日でした。皆さん、何故年金は毎月ではなく2カ月に1回なのでしょいか。毎月支給が先進国では常識です。

年金者組合は月給と同じように毎月の年金支給の実現を求めて運動をしています。

日本には最低賃金制度はありません。しかし、最低保障年金制度がありません。私たち国民が、最低保障年金制度の実現のために声を上げようではありませんか。(五十嵐)

「年金受給日宣言」
現行・年金は毎月ではなく2カ月に1回
年金者組合は毎月の年金支給の実現を求めて運動



第37回
越労連定期大会

11月28日中央市民会館にて越谷・吉川・松伏労働組合連合会の第37回定期大会が開かれました。

河田議長挨拶の後、来賓として埼玉連の浦部副議長、民主市政の会の大里代表、立憲民主党の小口市議、日本共産党の工藤市議の挨拶がありました。

次に役員から経過報告、決算報告、会計監査報告、活動方針案と当面の方針、次期予算案が説明され加盟団体からの発言がありました。

5団体からの発言があり、年金者組合からは吉田副支部

長(写真)が年金生活者の要求と現状について発言しました。大会は49人の代議員中36人の参加で成立しました。

越谷支部からは、吉田副支部長、足立副支部長、五十嵐書記長が代議員として参加しました。なお今年度に引き続き越谷支部から木村直人さんが会計として選出されています。(五十嵐)

年金裁判解団式に
参加して
2班 渡邊様二

2025年10月18日、越谷年金者組合から宮下文子さんと不破千代江さんとともに、埼玉県の解団式(於浦和駅近コルソ7階、参加60余名)に参加したことについて感想を述べます。

違憲訴訟は、10年にわたり、全国5044名(埼玉61名)による大規模提訴だったが、埼玉県本部発行の報告書「年金裁判 闘いの記録」での指摘のように、憲法25条の観点からは、「不当判決」だった。

ただ、参加した皆さんの言葉からは、活動継続への熱意が感じられた。私は、参加されていた弁護団長の柳重雄弁護士に、ねんきん越谷328号(本年9月17日発行)の点晴「年金訴訟に勝つ条件は」を手渡し、(裏面に続く)

点晴

今後のAIの発展に不安

今年もAIという言葉がいろいろ聞かれました。私は現役時代某計算機メーカーで定年まで36年間大型計算機からパソコンまでプログラミングに関連する仕事に従事してきたことから計算機科学の集大成ともいえるAI(人口知能)について興味を持っています。

私は20年前前からパソコンの囲碁ソフトを買ってやっていたが、チェス、将棋と違って囲碁で計算機が人間を超えるのはまだまだ先の事だと思っていました。

しかし、2017年に囲碁AIが当時世界最強といわれた韓国のプロ棋士の3番碁に3連勝してから人間は以降、囲碁AIに勝てなくなりました。

皆さん「生成AI」という言葉をご存知ですか。「生成AI」とは学習したデータをもとに新しい文章や画像、音声、動画などを作り出すことができるAIの事です。最近「生成AI」は皆さんのパソコン、スマホでも利用できるようになりました。そのため誰でも文章や画像を作り出すことができるようになりました。

そのため「生成AI」を利用して作ったフェイク情報で選挙の時に誹謗、中傷を行ったり、小説や画像を作ったコンテストに応募し入選する事態も起きています。特化したAIが大規模に利用される事により、単純作業や定型業務は自動化され人間の職場が減っていく事が予想されています。だから人間はより創造的かつ専門性の高い仕事にシフトしていくという予想もあります。

総ての人間がそうなるとは思えません。パソコンのAIに質問するとAIが答えを提示してくれます。中国のAIは中国政府の政策について聞くと答えられないと拒否するそうです。これはAIに人間がそのような制限を設けているからです。しかし、AIが今後データをどんどん蓄積していく時、人間がAIにいつまでも制限を与え続けていくことができるのでしょうか? AIの非常に急速な進歩を見ていると、10年後のAIがどうなっているのか不安を感じます。(五十嵐)

皆さん、今年一年のかがお過ごしでしたでしょうか。来年も良いお年を。